

浦添市の重複・多剤服薬 ～薬剤師の支援を受けて～



令和8年2月3日
浦添市健康づくり課 健康対策係

1 薬剤師による訪問相談支援（浦添市）

R7.7月 相談内容

- 重複・多剤対象者の選定
（判断に迷う方）
- 選定方法の確認（多剤）
- 困難事例 など

R7.10月 相談内容

- アプローチ方法
- かかりつけ薬局
かかりつけ薬剤師
- 眠剤の飲み方 など

2 重複服薬・多剤服薬 対象者

重複服薬

対象：12名

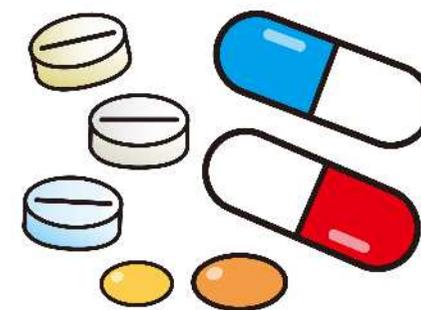
同薬効の内服薬を2か所以上の医療機関で3か月以上処方されている者

多剤服薬

対象：6名

9剤以上、90日以上処方があった者（65～74歳）

対象外：がん治療中、透析患者、難病、精神デイケア



3 支援方法



対象者



重複服薬



支援レター



連絡なし



訪問



多剤服薬



訪問

4 複合的な課題がある事例（重複受診・重複服薬）

概要（Aさん）

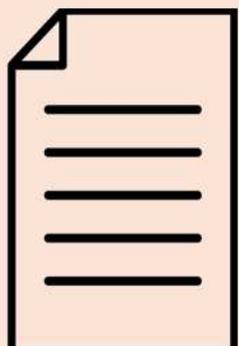
60代 女性
息子家族と同居
自営業



医療機関	疾患名	薬品名	処方日数
Aクリニック	不眠症 高脂血症	ゾルピデム アトルバスタチン	30日分
Bクリニック	高脂血症 肝機能障害 三叉神経痛	ゾルピデム アトルバスタチン	30日分
Cクリニック	不眠症 高脂血症	ゾルピデム	30日分
D病院	不眠症、うつ病 不安神経症 神経障害性疼痛 社会不安障害	ゾルピデム ブロゾラム エチゾラム	30日分
Eクリニック	不眠症	ゾルピデム エチゾラム トリアゾラム	30日分
Fクリニック	下顎疼痛 三叉神経痛	クイーゼ ロキソプロフェンNa	30日分
G病院	三叉神経痛	カルバマゼピン	30日分

支援方法

①



8月
支援レター

②



10月
薬剤師から助言

③



10月・11月
アポなし訪問



不在

④



12月
本人より電話



面接

① 支援 レター

② 薬剤師 からの 助言

③ アポなし 訪問

④ 面接

令和7年〇月〇日

様

「重複受診・重複服薬」状況について

浦添市健康づくり課では、国民健康保険にご加入で令和6年10月から12月の間に睡眠薬などを2か所以上の医療機関から処方されている方に、この文書を送付しております。

【重複内容】

医療機関名	重複している薬品名	お薬の種類	処方日	処方日数
Aクリニック	 ゾルピデム酒石酸塩錠10mg「NP」	睡眠導入剤	12月3日 12月23日	30日分 28日分
Bクリニック	 ゾルピデム酒石酸塩錠5mg「杏林」	睡眠導入剤	12月9日	30日分
Cクリニック	 ゾルピデム酒石酸塩錠10mg「アメル」	睡眠導入剤	12月27日	30日分
D病院	 ゾルピデム酒石酸塩錠10mg「トーワ」	睡眠導入剤	12月14日	30日分

※R6年10月から12月の間の保険情報から、上記の内容の重複服薬が確認されました。
(ひと月分を一部抜粋しています)



体調はいかがですか？

〇〇様と一緒に健康面、病院のかかり方やお薬についてなど一緒に考えていきたいと思っております。

このお手紙を読まれたら、裏面に記載されている担当までご連絡お待ちしております。

◎同じ作用のお薬が4か所の病院から処方されています。

●薬の作用について

このお薬は、脳の活動を抑えることで眠りやすくし、睡眠障害などを改善するお薬です。

●1日に1回、5mg～10mgを1錠 寝る前に服用します。

※1回1錠(10mg)以上飲んではいけません。

睡眠薬を適正量より多く飲んだりすると体調不良を起こしかねません。ご自身で判断せず、医師や薬剤師に相談されることをお勧めします。

●重複受診・重複服薬の見直しのポイント

○かかりつけ医・かかりつけ薬局を持つ

- ・同じ医療機関や薬局を利用することで薬の飲み合わせや重複処方の確認、副作用などを継続的に把握してもらえるため安心です。
- ・この手紙をお薬手帳と一緒に近くの薬局に持っていくと相談できます。
- ・残薬がありましたら、薬局に持っていくことで整理・調整できます。(お薬にも期限があります！)

○お薬手帳を活用しよう

- ・お薬手帳は、処方された薬の記録を残すための手帳です。1冊にまとめ、服薬状況を医師や薬剤師に確認してもらうようにしましょう。

浦添市健康づくり課では、専門職(保健師・看護師)が対応いたします。

お薬について相談したいことや健康についてのご相談などいつでもご連絡をお待ちしております。

浦添市 健康づくり課 健康対策係(保健相談センター)

電話：098-875-2100(代)(10時～17時)

①
支援
レター

タリージェ
⇒副作用にめまい。ふらつきはないか

②
薬剤師
からの
助言

アトルバスタチン2か所で処方
⇒副作用に筋肉痛、褐色尿あり

③
アポなし
訪問



ゾルピデムは肝臓で代謝される
⇒年齢とともに代謝が落ちてくる

④
面接

血液検査値

①
支援
レター

②
薬剤師
からの
助言

③
アポなし
訪問

④
面接

面接

「痛い時に、睡眠に逃げたく
なる。その時に眠剤を飲む。」

「お金とかの問題じゃない。
薬を貰うために仕事しないと。」

「私には（薬は）必要。」

借金（+）

お薬手帳活用なし

支援内容

頑張りを労う

血液検査結果

痛みのコントロールが安定後、
眠剤も減ると良いですね

障害年金、自立支援医療申請予定

生活保護？債務整理？

5 支援後、変化が見られた事例（多剤服薬）

概要（Bさん）

70代 男性 独居 無職 15剤の処方



医療機関	疾患名	薬品名	処方日数
Aクリニック (内科)	不眠症 不安神経症 高脂血症 高血圧症 糖尿病 心不全 など	ブロゾラム エチゾラム イコサペント酸エチルカプセル アゼルジピン バルサルタン ナトリックス など	30日分
Bクリニック (内科)	不眠症 高脂血症	ロスバスタチン	30日分
C病院	左変形性膝関節症 抹消神経炎 腰部脊柱管狭窄症	加ナール メコバミン プレガバリン など	56日分 91日分 91日分

支援方法

①



7月
薬剤師から助言

②



8月
アポなし訪問

③



2月
訪問予定（評価）

①
薬剤師
からの
助言

ブロチゾラムで眠れない場合に、エチゾラムを内服しているのか？ Drの指示があるはず。

不安で眠れない場合、エチゾラム処方される方多い

メコバラミン
⇒内服しても効果を感じにくい薬。
そのため、薬を減らしたい場合は減らしても良い薬

③
訪問
予定



併用禁忌はないが、薬の量が多いため薬局に相談を。

①
薬剤師
からの
助言

訪問

「薬が多い。」

「眠剤は半分にして飲んでいる。」

「医師や薬剤師と相談して、残薬調整しているよ。」

「内科を1か所にしたいが、自分の考えでやっていきたい。」

特定健診案内

お薬手帳1冊で管理

その後の変化

15剤⇒10剤に減少！

内科は2か所受診（変化なし）

②
アポなし
訪問

③
訪問
予定

6 課題

1

重複服薬者は、
会えない方が多い（拒否傾向強い）

2

毎年同じ人が対象
（毎年会えない）

3

精神科の薬剤に関する指導
精神疾患患者への対応
⇒優先的に本人の気持ち聞く
信頼できる医師は？

4

対象者選定に時間を要する
⇒薬剤師の力を借りる！
治療ガイドライン

まとめ～薬剤師の相談支援を受けて～

薬剤師に相談して
良いことばかり！

(薬の併用・体への影響・
選定方法など)



きっかけ・困りごと知る

身体的視点 (薬の影響)



医師・薬剤師と連携

⇒事業の周知





ご清聴ありがとうございました